

<p>健康の習慣</p> <p>○十二月の身長体重の測定</p> <p>○お天気のよい日は外でよく遊びましょう</p> <p>○うがいをしていねいにしましょう</p>	<p>よき習慣</p> <p>○お友達とけんかをしない様にしましょう</p> <p>○自分で遊んだものは必ず自分でしましましょう</p>	<p>行事</p> <p>○第二保育期終了式</p>
<p>○ぬりえ</p> <p>○十二月の身長体重測定</p> <p>○お天気のよい日は外でよく遊びましょう</p> <p>○うがいをしていねいにしましょう</p>	<p>○乗物の中では静かにしましょう</p> <p>○誰にでも挨拶(朝や帰り)が出来る人になりましょう</p>	<p>○第一保育期終了式</p>

十二月の保育所

鈴木とく

幼児にとつて、十二月は何かを待ちももうける楽しい月です。夫々の年令でまとまつた、集団生活を続けて来ましたが、共同生活での学習の上からも、生活、それ自体の上でも、各年令、各組なりに、何か骨組が出来上る月である様に思われます。

何かをやるにしても、年少組、四才児組、年長組、夫々の年令なりに、何かしつかりとして来た感じが受取られます。これから続く冬の四カ月が、丁度、秋播き種が、地中で春の開花の為に根を張る様に、その年代なりの活動を、肉づけする様に、考えて、保育の計

画をたてる上に配慮したらと思います。
例えば、

四月から、夫々に遊びや生活指導で計画され、実施されたことがどれだけ幼児自身のものとなつているか、あらわせる様な保育の計画。火災予防週間、交通安全週間等にもなむ、保育所内での待避、集合の訓練。

○巷の売出しとか、クリスマスセールにちなむ店屋ごっこ。
○信仰の有無に拘らず一つの年中行事の感のあるクリスマスのプレゼント製作や、その日のお祝いの集りにすること。
これらを、新しい材料でするのでなく、これ迄の生活で、自由に、自分のものとしてつかえる様になつたものを發揮させる様にしたいのです。

又、どんな幼児が、それらの、何と何を身につけ得ないでいるか

をみて、それを助けてあげる保育の工夫。

こうした事を、胸におきたいと思います。

◇保育所全体の生活プランを考えるについて◇

○冬期の、『保育所一日のプログラム』をくみかえる事。朝の起床、食事、登所時間等が変つて来るので、保育所内の時間にも変更があるべきです。

○この月にも年中行事がありますが、これの考え方を保母一同で検討し、反省すること。

○年長組の生活が主体となつて、案がたてられがちであるのを、どの組にも、注意の行きとゞいたものにしたこと。

九月にも、『保育所一日のプログラム』について書きましたが、保育所の幼児について、親切に考えれば考えるほど、時間のとり方を苦心し、検討する様になります。この事が、幼児の生活のもと、なのですから、食生活、遊びの生活、休息生活、その他の、時間的配慮が、年令を異にしてなされるべきです。冬は、夏や、春秋のプログラムのまゝでは、すまされません。一日の時間的配列だけでなく、その時間になされる生活内容を、細々書きとめておいた方がよい様です。

『年中行事』については、これが、幼児の生活を進行させる目標となり勝ちですし、又それもよいと思ひますが行事を目標としての遊びの計画でなく、日々の遊びの経験が、行事の日に、さりげなくまとまり、表現されて、楽しい、常と変つた日を過せる、と云うもの

でありたいと思います。

三、四才児まで、クリスマスの遊びの為に、又は、お正月の新年会「母と子の集い」等のために、年長組よりやさしいものだからい、だろうと云う考えだけで、描され、作られ、練習させられる生活が多くなるのは、反省すべきだと思います。

こうした考え方のもとに、各年令の、この月の生活を進めて行きたいのですが、四、五才児の遊びの予定案は、毎号、堀合先生が具体的に示されておられますから、それを参考にして頂くこととして十二月の保育所生活で、留意したいことを、各面から見に行きたいと思ひます。

◇生活指導の面から◇

- 手の拭き方。(ひび、あかぎれの予防のためにも)
- ぬれた手のま、火にかざさない。(前同)
- ガラ／＼と喉を洗う合嗽のし方の徹底。年少組はやり方が上手になる様。中組年長組は、はき出す時ふざけてあたりにはきちらさない様に。
- 鼻がたれていたら、お友達に教えてあげる。
- 咳、くしゃみの時、必ず手で口をお、う。
- 足袋はだして庭に出たら、足袋をぬいで、部屋に入る。
- ぬいだ足袋や靴下は、必ずまとめて、一定の籠なり箱に入れる
- 焚火のあとの火あそび、ストーブ、火鉢の火のいたずらは、火

事のもと、と理解させる。

○室内生活が多くなるから、他の組の仕事に邪魔になる様なことにつき注意する。廊下は静かに、必要以上の大声でわめかない様にする。

○物の置場の乱れは、清潔感をなくするから、所持品のおき方、遊び道具のしまつのしかた、作業のあとしまつ等、特に注意。

生活指導の面は、その保育所の、その年令により又、四月からの案の立て方、習慣のつき工合等で、必ずしもこの様ではないと思えます。一般的にとりあげて考えてみたいことをぬき出した丈です。たゞ、廊下に紙屑がちらかり、オーバーかけたらオーバーがおちており、手拭が床に落ちていたりするのを、何気なくしまつする保母を、幼児はみている、と云うことを思い出しましょう。口だけ、ひろいなさい、かけなさい、と良習慣を強いる丈では駄目だと思いません。

他の人の邪魔をしたり、迷惑をかけたたりしない、と云うことは、共同生活の上で一番きびしくされなければならぬこと、思います。生活のすべてについて、組全体の用意の出来上りを待つと云うこと（例えば、手洗いや用便も、すむまでまつている。食事も、みんな用意が出来上がる迄待つ、等）は考えものですが、先にすんだ者が、あとになつたものへの思いやりについては、保母が、よい方法を示すとか、その次の生活の準備をさせるとかであとになつた者へ迷惑にならない様な心やりを、常に示すべきでしょう。

自分の組だけが、たてた一日のプログラムに忠実であればよいと云う、他に対する注意と親切の行きとどかない気持が、どんなに、

他の組に迷惑をかけているかを気づかせない事が多い。こんな保母では、幼児に、他人の迷惑になる事をしない様にと云つてもいたし方ないのではないのでしょうか。

◇健康保育の面から◇

私達は、空気に對して敏感でない様です。電車にのつていて、どんなにいやな匂がしていても、少し寒いと窓をあげようとしません。

○冬は、ことさら部屋の換気に注意したい。

○ストーブをたいたら、乾燥しない様に湯気をたてることを忘れたい。

○火の側ではかりあたゝまろうとしなくて遊びの中で温くなる、活動的なものを選びたい。

○風があまり強くない限り、外気にふれる事を毎日欠かしたくない。

○火をたくことで部屋が埃つばくなる。出来る丈、掃除をまめにしたい。

○感冒らしいと気がついたら、よく納得ゆく様に話を話して、欠席して貰う様にした。

保育所の使命から云えば、隔離室をもつて、親が働いているうち、保育してあげるのが本当であるが、現在、これが出来る保育所は、いくつあることか？

○乾布摩擦や、日光浴は、夏以来、裸になれた幼児には平気ですから、予防医学に熱心なお医者様の指導をうけ、一方母親教育も根気よく続けながら実行したい。

○寢巻に着かえる時、肌着も全部ぬいで、着かえる様に。
○裸、うす着の遊びの時、全員が活動的な遊びをする様リードする。

◇遊びの面から◇

○街頭での遊びの種類が多く入りこむこと、どの様に保育にむけるか。

○年長組の、名前の読み書き、と数の問題を、どの様に扱うか。

○団体遊びの種類を色々工夫したい。
この月から冬中、街頭での遊びがそのまゝ、保育所にもたらされるものが多い様です、中でも、いつも問題にされるのは、めんこ遊びの事です。これをいけないと禁止する理由は、いろいろある事でしょうが、禁止しないで、よい方向に、或は他の遊びに転ずる工夫をした方がよくはないかと思えます。

相当に活動的ですし、技巧もいるあそびです。又勝つてやりとりしなければ面白くないでしょう。この事で、喧嘩も多くなるかも知れませんが、とりあげたり、遊ぶのを禁止したりしないで、この事にだけ夢になつてしまわない様に遊びの転換をうまくやりまじよう。

ヒコキとばしもそうです。紙を無駄にする、紙をちらかす、と消極的な面のみ心をむけず、古新聞、古雑誌、あきる程折らせ、飛ばさしてあげたいと思えます。自分で色々な折り方や、とばし方、どんな風に折れば、真直に早くとんだり、宙返りをしたりするか等工夫します。又そうする様にしむけましょう。

カルタ、絵合せ、等は暮も近い頃の室内遊びですが、之はみんなで製作出来ますから、保育案の中の絵画製作の一つになりましよう。縄とび、はねつき、凧あげ、石けり、は、運動場がぬからない所では、外氣にふれる為のよい遊びです。之を表す、律動も、歌も古くから歌いならされたものがありますから、適当にとり入れましよう。

おはじきやお手玉も、冬になると盛になる様ですが、遊びの中にとり入れるなら、別に季節をやかましく云わなくともい、と思えます。おはじきは、感覚遊びに随分適するものと思えます。ガラス製でなく、彩色して、中央に穴のあいているものは、二、三才児の紐とおしに利用したり、牛乳瓶等に出したり、入れたり、ふつて音を楽しんだり、一才児の遊びです。之は口に入れるのを注意しなければなりません。二つを打ち合せる昔からの遊び方も、工夫すれば四、五才児のよい遊びとなりましよう。

おそくまで居残る幼児と、火の側で縫うお手玉も、いくつか拵えておく事で、一人々々のもちあそびにも、共同での遊びにも利用出来ます。

◇ ◇ ◇

冬の午後の時間は、設備の点で午睡が出来なくなる所が多いと思えます。年少組までと要注意児は、何とかして午睡をさせたいと思えますが、この時間中、午睡をしない、年長組はどの様にするか問題点となると思えます。午前中と違つて疲労感から来る落着きなさもあります。創造的活動はもりあがらないと見てよいでしょう。この時間を、年令組別にして保育案通りの、絵かきや、その他の製作

に引つづけるのは、たとえ保母の云うなりに従つたとしても、幼児の側では喜びは少いと思います。

午後一時から二時十五分過位迄を、私の所では「保育園の静な時間」としています。午睡をしている小さなお友達達の邪魔にならぬ様に、又大きな組のお友達も、静に時を過す習慣がつく様に。絵本をよんで頂いたり、お話をきいたり、紙芝居や、人形芝居をして頂いたり。それらに興味のむかない幼児は、好きな、静な遊びをする様にします。

或は、小春日和でしたら小憩後散歩に出るとかします。

その後のおやつ迄の時間や、おやつがすんだあとと時間は、なるべくゲームをして、年長も年少も共に楽しむ様にします。

ゲームも二人が活動して何かあたる迄まつと云う様な、或は一人づゝ、順々にする様な形式でなく、全体が動ける様なものを選びたいと思います。ツルカメラ形式、鬼ごっこ形式、花一匁形式、リレー形式等、一つか二つ知つているものから工夫をして遊び方を生み出して行きますよう。

◇ ◇ ◇

文字と数の問題は、四月から保育案を計画する時に、その事に親しむ様な行き方をすれば、特別教えこまなくても、低学年で要求している程度の事は出来上つて来ますが、も一度組全体を調べてみてどの程度であるかを知る必要があります。なか／＼出来ない幼児に二月頃になつてから慌て、つきこむことのない様に。自分の名前を読み、書くことは、鉛筆と紙が、自分のものとして、自由に使える様にしてあれば、「お勉強、お勉強」と勝手に出して書いていま

す。

どうしても出来ない者には、手をとつて、書かしてあげなければならぬでしょう。発達の遅れた幼児には、大変な負担にならぬ様にこの月頃から徐々に、やらせなければならぬと思います。

一から五迄の数を、加えたり、引いたり、順として理解する為には、日々の生活の中で一寸した心がけが、数生活への興味を起すものにもなりましよう。お八つのあめやビスケットの数、お盆にのせるカップの数、お皿の枚数等々。入学準備として、特別間ぎわになつてから、保育の中へ折りこんだり、それだけとり出してつきこんだりしない様に、注意したいと思います。

◇ 家庭への連絡 ◇

○寒いので、お風呂に入る回数が少くなりがちですから、皮膚の清潔と、肌膺の清潔について、特に注意して頂きましょう。

○夜ねる前、外出後、朝おきた時のうがい忘れずする様に、お母さんも励行しましょう。

○保育所では、スッポリ裸になつて寝巻に着換えるのですから、皮膚も、意志の鍛練の為にも、お家でもそうする様にして頂きましょう。

○クリスマスにお前は何かをするの？ とせめたて、頂かない様にみんなで、たのしく、歌つたり、おどつたりするのですか

ら。
○暮のお休みなつたら、お小遣の使い方を上手に指導して頂く様に。せがまれるまゝに何十円と与えない様に。(17頁へ)

ごつこが運動遊戯として表現され又、構成遊戯、受容遊戯と、教育効果をあげた様に思います。そして汽車にしても立派なおもちゃの汽車よりも、むしろ荒縄で作った自からが乗って遊べるものの方が興味が長く続きまし。そしてその縄がなわとびにも使われまし。この様に自由遊戯を通して私は子供に教えられることがたくさんあります。幼児教育者は幼児から学ぶのだと考えます。

自由遊戯を通してみますとやはり男児の遊戯は種類が豊富で変化があり、女児は変化が乏しい様です。これは男女の性格で当然だと思ひます。

(6)

さて、最後に最も大切な「自由遊戯」をよりに子供の幸せの為に環境の設備を工夫によつて与えてやることは、勿論であります。子供の遊びを通して心身の発達を観察して、教育効果をあげるには、たゞ捨て放しでなく、やはり、単元で生活を規正してあげるべきだと思ひます。この単元の影響が直接、間接にひいて、幼児の遊びは段々と教育的に進行するのだと思ひます。

幼児の遊びは幼児の人間性性格を形づくる重大な契機といわれています。私どもはこの

幼児期の「心理性」と、「生活」を、教育計画に多分に盛ることが、大切であると考へます。幼児の遊び即ち生活は季節や行事によつて変遷いたします。その変遷を「より発展的教育的に」教育技術を存分に駆使して効果をあげたいと思ひます。即ち幼児の身体的、精神的の生活コアをどう把握しこれを助長するか日々の教育指導がなされているのだと思ひます。幼児が生長すると申しますがたゞ漫然でなく、これを、教育計画にはつきり、系統づけねばならないと思ひます。こゝに具體的な教育を持ちたいと思ひます。それ故私の園では「教育課程」を、重大視しております。「自由遊戯」の、自然な姿に指導の「選択課程」があり、これから中心の「単元課程」が、確まれ、そしてそれを充実させる為に、基礎指導の「基礎課程」が提案したのであります。けれども飽く迄も「幼児」でありますから、幼児期を尊重し幼児の自然に立脚した保育の課程カリキュラム以前のカリキュラムがあるのではないかと思ひます。(筆者は館山市立北条小学校附属幼稚園教諭)

(44頁より)

約束や、保母との連絡で、なるべく少くする様注意しましょう。

○カード式の連絡表を渡して、手洗い、うがい、お小遣、お手伝い等の、日々の日記を赤丸、青丸、黒丸などでつけましよう。

◇ ◇ ◇
ビカ／＼星や、サンタクロースの歌、たき火、よまわり、なわとび、お正月の歌や、リズム遊びや、動きのリズムで、毎日遊んだ事が、一年中を子供のために伝きつゝける勤勞母性のレクリエーションもかねて集うクリスマスのは、司会者によつて、よろしく構成されて、子供歌い母も遊ぶという楽しい一時になりました。どんなに小さな一寸した贈り物でも、母の会のお母さん達の心がこもっているそれは、幼児の胸に喜びを植え、お正月を待つ嬉しさに高まつて母の言葉に、素直に従い得るチャンスともなつて、新しい年を迎える夢を見る事でしょう。